



2020年度
第18号

体育市民連帯 ニュースレター

“望ましい体育社会”

体育市民連帯と

皆さんと一緒に

作っていくことができます

私たちの連帯の活動に

積極的に参加下さる事を

希望します。

1 体育市民連帯コラム

韓国スポーツの
道徳的ジレンマ



2 危機の国体

譲歩なく迷走不可避



3 東京オリンピック

中止可能性提起で
“簡素化”もちあがる



4 e-スポーツ

新しい形のスポーツ
五輪の扉は開くか



5 スポーツ界あれこれ



【体育市民連帯コラム】
ソ・ソンウ/体育市民連帯事務次長
ノ・ジンギョ カンジョンホ 盧珍圭、姜正浩選手を通じた韓国スポーツの道徳的ジレンマ


2016 年 4 月 3 日、韓国ショートトラック代表ノ・ジンギョ選手が骨肉腫で闘病中に世を去った。

故ノ・ジンギョ選手は、2013 年 9 月個人病院で左肩の骨に腫瘍を発見し、骨肉腫の可能性があるという説明を聞いたが、K 大学 A 医師に 3 回にわたり骨肉腫ではなく巨大細胞腫との診断を受けて「悪性である可能性は低いので来年 2 月の冬季オリンピックが終わってから腫瘍を除去しよう」、「試合の出場が可能だ」などの所見を受けて再び訓練に突入した。その後も腫瘍は引き続き大きくなって行き、数回の手術と治療を並行し結局亡くなった。直接死因は骨肉腫であった。

この華やかな青春の死は避けられなかったのだろうか。スポーツ選手の負傷闘魂を当たり前のように思う感情が医師の所見に投影されたのではないかという疑問に医学論文データベース (KMbase) で骨肉腫に関する資料を探索した。

研究機関	結論の概要
江東慶熙大学校病院 整形外科 (2011) *	骨肉腫の発生頻度は高くないが、正確な診断が行われなかった場合、その被害が深刻であることを認知しなければならない。
原子力病院 整形外科 (2015) **	巨大細胞型骨肉腫は誤診や診断の遅れの頻度が高いため、巨大細胞腫の場合、骨肉腫である可能性があることを念頭に置く必要がある。 誤診時の患者は悪性腫瘍とは全く異なる治療方針に従うが、再発や転移などで非常に進行された後で判るので、それに伴う問題は深刻になる。

* <http://www.dbpia.co.kr/journal/articleDetail?nodeId=NODE01657642>

** <http://www.dbpia.co.kr/journal/articleDetail?nodeId=NODE06365889>

誤診や診断の遅れの可能性があり誤診がもたらす危険性が大きいのなら、大会出場を確定する前に正確な診断と治療が行われるべきではないか。医師は彼を運動選手である前に普通の 2 3 歳の青年として見た場合、腫瘍除去を来年に先送りしようと言ったことができただろうか。

2020.05.18 手術も先送りした...痛くても痛くないクオンハンジン 權韓眞の「負傷闘魂」(訳注: サッカー選手)

2020.01.14 「負傷闘魂」キムヨンギョン 金軟景 "全てをかけて鎮痛剤打って走った" (訳注: バレーボール選手)

2020.03.27 「負傷闘魂」ソン・フンミン「痛み感じたがチーム助けたかった」(訳注: サッカー選手)

運動選手はなぜ自分の安危をなおざりにして、チーム（国）のために犠牲にして負傷に耐えるのか？これは「選手なら当然」という必行の慣習がスポーツで規範化されているからである。実際にスポーツで「負傷闘魂」という言葉が馴染まないと感じる者はあまりいないだろう。チーム（国）の勝利のために血を流したり、骨が折れ痛みを訴えたりしながらも試合に没頭している姿は、闘魂と犠牲、挑戦という言葉で美化されてきたのが現実である。

勝利への強迫観念、指導者の指示に無批判的に従う文化などが彼らの行動を強制する動因として作用しており、これらの慣習は選手が負傷した後に十分な休息と治療をせずに復帰する現象を招き、選手生活を短縮させ、選手たちの自己決定権を喪失させる原因となっている。

選手たちの負傷闘魂の裏側には、非出場がもたらす損失の恐れ、レギュラー争いでのペナルティ、主要打者に対する失望感などの圧迫が隠されており、これらの慣習と反人権的な状況は運動だけが生きる道だと認知する選手たちの認識とかみ合って、構造的に根付くようになった。

ひときわスポーツで苦痛と忍耐を強要され、反人権的な状況が再現されている理由は、日常的な生活の中で行為は概ね厳正な基準によって制御される一方、スポーツの行為は善と悪という両極端な思考で定義できないし、多数が正しいと認める社会的規範によって行為が正当化される可能性があるからである。

スポーツで肉が裂け、骨が折れても我慢することをスポーツ精神と解釈すれば、選手たちは負傷、引退、さらに死の危険にも直面することになり、故ノ・ジンギュ選手の事例のような犠牲が繰り返される。これを防止するためには選手たちが勝敗のための道具ではなく、一人の人格体であることを認識することが重要であり、選手の人権保護のために構成員全員の努力と国内スポーツが目指すべき正しい方向性についての議論が必要になると思われる。



カンジョンホ姜正浩は 2010 年代 KBO リーグ最高の遊撃手であり、歴代級遊撃手系譜の一員である。また、メジャーリーグに直行した最初の韓国人野手であり、2015 年と 2016 年のピッツバーグ・パイレーツ所属で多大な活躍を広げながら国宝級打者隊列に上がった。

しかし、なんと 3 回の飲酒運転摘発と自己犯人逃避教唆（訳注：身代わりやもみ消しをさせること）を引き起こしてプロの経歴が中断したが、2018 年末にやっと復帰しシーズン途中で放出された。そんな彼が 2020 年 4 月 29 日の時点で KBO リーグ復帰を宣言し、議論が起きている。

「ご本人が韓国でプレーする資格があると思いますか？」

米国から帰ってきた姜正浩を空港で迎えた 50 人余りの取材陣が初めて投げた質問である。彼は一言も答えることなく弁護士を通じて「死ぬ日まで後悔して贖罪する気持ちで生きる」、「野球で恩返ししたい」などの立場を明らかにした。

姜正浩は賞罰委員会を通じて 1 年の有期失格とボランティア活動 300 時間の懲戒を受け、早ければ来年から KBO リーグの舞台を再び踏むことができるものと思われる。

これは単に一人の選手を迎え入れる問題とか野球種目に限られた問題ではない。姜正浩が再び国内の舞台に

戻ってきて、チームの勝利をもたらす観衆の歓呼を受けると考えてみよう。

スポーツの倫理的な問題があっても結果的に勝利すれば、すべてが容認されるという帰結は、プロ選手、指導者、アマチュア（学生）選手の価値観に否定的な影響を与える可能性があり、技量が優れた運動選手は罪を犯してもまた愛されるという事例を提供することで、罪悪感の欠如を招きスポーツが持つべき望ましい性質の認識を阻害して道徳的無感覚を生じさせることを暗示する。

結果論的に故ノ・ジンギョ選手と姜正浩選手の事例は、スポーツ倫理の欠如が原因と見ることができ、スポーツの分野で選手たちの人権と人格教育に深い関心を持たなければならない必要性を提供する。選手の安全のために制度的支援が必要であるし、勝利のみを目的として選手の人間性がなおざりにされている社会構造から脱却する必要があると考えられる。

2020.06.12 体育市民連帯

01 KBS ニュース 2020. 6. 12

【 国体 70 年ぶりの危機... '譲歩なく迷走不可避' 】



慶北の国体延期要求に関連自治体の立場の差くっきり

1950 年朝鮮戦争以降、70 年ぶりに全国体育典迷走の危機

国体 - 少年体育典 - 生活体育大祝典循環開催も揺れる

今日（12日）ソウル駅の会議室に文体部と大韓体育会、7つの自治体関係者が集まった。慶尚北道の国体延期要請による実務協議であった。会議は開始前から難航が予想された。国体延期は次期開催地の協力が必要な状況だが、自治体ごとに立場が異なっていたからである。2時間の会議は結論を出せなかった。

◆慶尚北道の突然の国体延期要請

去る10日、コロナ19中央災難安全対策本部ビデオ会議で李チョルウ慶尚北道知事は、コロナ19拡散を懸念し国体1年延期を政府に要請した。

コロナ19が秋に再流行するという見通しもあり、国体を強行しても海外選手団不参加と種目別分散などで半分の大会に転落する恐れがあるというものである。

慶北は国体開催のために1億ウォンを超える予算を投入した状況で、中止ではなく延期を選択した。101回全国体育大会は10月8～14日、亀尾を中心に慶北12の市・郡で開かれる予定だった。

ひとまず文化体育観光部は大韓体育会と防疫当局、次期開催地などと協議して最善の方案を用意すると答えた。これと関連して文体部関係者は「慶北が事前協議なしに延期要請をした」とし「この問題は次期開催地などの協力が優先」と慎重だった。しかし「最近コロナ19の状況を見ると、今年の秋の全国体育大会を定期的に開催することは容易ではないのは事実だ」と述べた。

知らせを聞いた大韓体育会は困り果てた。体育会の関係者は、「慶北で2週間ほど前、非公式に大会延期が可能かとの問い合わせがあったが、突然政府に延期を要請して体育会も当惑した」と語った。国体を可能な種目でも進行したいというのがこれまでの体育会の基本的な立場だった。

◆蔚山「来年、国体を予定通り開催したい」

大韓体育会の国体規定を見ると、開催時期を変更するには次期開催地との事前協議後に体育会が承認しな

なければならない。慶北の国体開催が来年に先送りされるには、まずは来年の開催地である蔚山から同意しなければならない。

〈全国総合体育大会規定〉

第 20 条（開催地市・道支部の義務）

③全国体育大会などの開催が決定した市・道支部が第 1 項の契約にもかかわらず、開催時期の変更をしようとする場合、既決定された市・道支部の広域自治団体長と事前協議した後、体育会が最終的に承認して変更することができる。

慶北の延期要請当日の午後、宋 Cholホ蔚山広域市長は定例ブリーフィングで関連の質問が出ると、「来年の蔚山国体を何としても実現に向かって最善を尽くす。残りの問題は状況を見ながら対応する」と語った。宋市長の発言は譲歩しないという意味として解釈された。

これと関連して蔚山市の関係者は、「宋市長の発言は記者の質問に原則的な立場を明らかにしたもので、蔚山が国体延期と関連して公式の立場を定めたものではない」と釈明した。

毎年開催される国体の開催地は、すでに 2024 年まで決定されている。2021 年蔚山、2022 年全南、2023 年慶南、2024 年釜山である。

大会が 1 年ずつずれると追加費用が発生して、自治体としては負担が生じる。スポーツ界では「国体は地域の最大のイベントで、選挙を控えた自治体長には重要なイベントなので容易に決定できない」という分析も出ている。



2019 全国生活体育大祭典開幕式

◆国体延期問題で少年体育典・生活体育大祝典の連鎖混乱が懸念

今年の全国体育大会が開られない場合、1950 年の韓国戦争初年度中止がされて以降、70 年ぶりだ。戦争の真っ最中だった 1951 年～1953 年にも行われたほど由緒ある韓国最大のスポーツ祭典である。

国体の問題は単純ではない。国体の開催地は翌年の少年体育典、その翌年に生活体育大祝典を開く。一度開催地が決まるとエリート・学生・同好人全国大会の「3 点セット」が決定されることになる。

このような状況で、コロナ 19 により今年の少年体育典の開催は事実上不可能になった。ソウルで開かれる少年体育典は 5 月から 9 月、すでに一回延期された状況。

12 日、全国体育大会の延期対策会議で、今年の少年体育典の開催地であるソウル（2019 年全国体育大会の開催）は、大会を延期ではなく中止するという立場を明らかにしたと伝えられた。全北（2018 年全国体育大会の開催）も今年生活体育大祝典中止を希望することが分かった。大会を 1 年遅らせると組織維持などで追加予算がかかるという理由だ。

これに対して大韓体育会は少年体育典が中止され国体が 1 年延期されたら、来年に慶北で国体と少年体育典を一緒に開かねばならず、日程が難しいとして難色を表明した。

仮に今年 3 つの大会すべてを中止することもできるが、慶北は多くの予算をかけてもメインイベントであ

る国体を開催できず、来年から少年体育典と生活体育大祝典だけを行わなければならないので選択する可能性は低い。



12日、ソウル駅で文体部と体育会、7つの地方自治団体の関係者が集まって国体延期対策を協議した。

◆「順次の延期に重点を置いて議論」...解決糸口も

最後に、現在では大会を1年ずつ全て延期するのが次善策と思われる。文体部の関係者は12日、対策会議を控え、「順次延期に重点を置いて議論をする」と語った。しかし、強制することはできない事案だ。解決の糸口も見える。蔚山は「来週中に地域内の意見をまとめて“大会連続延期”を受け入れるかどうかについて最終意見を出す」と述べた。これに対して、全南と慶南、釜山は蔚山が順延を受容すれば従うという立場だ。

しかし、ソウルと全北が少年体育典と生活体育大祝典中止を強行すれば議論の進行があやしくなる。文体部は来週、今年の少年体育典・生活体育大祝典中止問題について教育界などの議論を継続する計画である。

*出典：<http://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=4469410>

02 ハンギョレ 2020. 6. 11

【 中止危機に追い込まれた東京オリンピック「簡素化」持ち上がる 】



トーマス・バッハ国際オリンピック委員会 (IOC) 委員長

ロイター聯合ニュース

国際オリンピック委員会 (IOC) と東京オリンピック・パラリンピック組織委員会が費用削減とコロナ19 予防のための東京オリンピックの簡素化に合意した。

日本の<読売新聞>は11日、組織委員会が参加者数の縮小や関連行事の見直しなど大会簡素化を骨子とする基本的な原則を前日開かれたIOC理事会に報告し、理事会がこれを承認したと伝えた。今回の原則は大会の核心である競技や参加選手の縮小は見直し対象に含まれていなかったが、コロナ19 拡散状況に応じて変えることができることが分かった。

安倍晋三首相はこれまでオリンピックを「完全な形」で行なうと公言してきた。しかし、コロナ19 局面が終わる兆しが見えず大会中止の可能性まで提起された。今回の簡素化はオリンピックの中止を防ぐための安倍首相の「窮余の策」に見える。安倍首相は周辺に「規模縮小を避けることができない場合は、必ず来年に開催しなければならない」という趣旨を明らかにしたと伝えられた。

一部では今回の簡素化の決定をはじめとして東京オリンピック自体が縮小されることがあるという観測も出ている。すでに「完全な形」という原則が崩れたため景気や参加選手縮小も十分可能だということだ。オリンピックが中止された場合、IOCと日本政府、東京都などが耐えなければならない天文学的費用も縮小する可能性を高めている。

ただし、日本政府は規模縮小の可能性については否定した。政府のスポークスマン菅義偉官房長官は 11 日の記者会見で大会規模を縮小しない方針を撤回したのかという質問に「全く変わっていない」と答えた。一方、I O C は最近ジョージフロイド死亡で拡散する人種差別反対の動きと関連し、オリンピックでの政治的表現の許容案を検討すると発表した。トーマス・バッハ I O C 委員長は 10 日（現地時間）、内部の選手委員会でオリンピック精神を尊重しながらも、意思表示ができる方法を検討すると発表した。この間 I O C はオリンピックでの政治的表現を厳しく禁止してきた。

*出典：http://www.hani.co.kr/arti/sports/sports_general/948912.html

03 東亜日報 2020. 6. 13

【 若い世代の熱狂 e-スポーツ、五輪の扉開くか 】



2019 ポートナイトワールドカップ"ソロ"部門優勝賞金 300 万ドルを受け取ったカイルギアスドープが優勝トロフィーを持って歓呼している。

エピックゲームズホームページ

“ゴルフ皇帝”タイガー・ウッズ（45・米国）は昨年 4 月 15 日に終了した米国プロゴルフ（PGA）ツアーのメジャー大会であるマスターズで優勝した。彼は優勝賞金として 207 万ドル（約 24 億 8000 万ウォン）を受けとった。優勝賞金を含むこの大会賞金総額は 1150 万ドル（約 137 億 7000 万ウォン）だった。この日から 105 日過ぎた 7 月 29 日、カイルギアスドープ（18・米国）は「ポートナイトワールドカップ」で優勝した。ポートナイトは 2017 年にデビューした「ビデオシューティングゲーム」である。ギアスドープはこの大会の優勝で 300 万ドル（約 35 億 9000 万ウォン）を受けた。ウッズより 1.5 倍近く多い金額である。この大会賞金総額も 3000 万ドル（約 359 億ウォン）で世界最高権威のゴルフ大会より 3 倍近く多かった。

マスターズだけポートナイトワールドカップに押されたのではない。テニスで最高の権威を誇るウィンブルドン男女シングルス優勝賞金も 235 万ポンド（約 35 億 7000 万ウォン）でギアスドープが受けたお金よりも少ない。昨年フランスで開かれた国際サッカー連盟（FIFA）女子ワールドカップ賞金総額が 3000 万ドルで、ポートナイトワールドカップと同じだった。



韓国オン・オフのプロスポーツ選手中で最も多くの年俵を受けることで知られたリーグ・オブ・レジェンド（LOL）プロゲーマー「フェイカー」李サンヒョク。

SK テレコム提供

ゲーマーの人気も既存のスポーツスターに負けない。インターネットポータルサイト Google は自社の検索結果をもとに全世界の人気を測定して知らせる「Google トレンド」サービスを提供している。これによると、最近5年間リーグ・オブ・レジェンド (LOL) 選手「フェーカー」李サンヒョク (24) が「フィギュアの女王」キム・ヨナ (30) よりも人気が高い人物だった。韓国サッカーの看板ソン・フンミン (28・トッテナム) さえ 2018 年になってフェーカーの人気を越えたほどだ。

さらに、新型コロナウイルス感染症 (コロナ 19) 拡散で全世界のスポーツ時計が止まった間にゲームすなわち e-スポーツの株価はさらに上昇した。ところで果たして e-スポーツを一般的なスポーツと同じように扱うことが正しいことなのか。

少なくともアジアオリンピック評議会 (OCA) はこのように判断した。OCA は 2018 年ジャカルタ・パレンバンアジア大会を行なって、e-スポーツをデモンストレーション競技に採択した。△スタークラフト II △クラッシャーロイヤル△ペンタストーム△ハースストーン△LOL△PES (ウイニングイレブン) 2018 などの 6 つのゲームが行われた。大会組織委員会は「若い世代の間で新たなスポーツ形態が急速に発展して人気を集めている現実を反映した決定だ」と説明した。e-スポーツを「新しいスポーツ形態」と解釈したものである。アジア大会はオリンピックの次に多くの選手が参加する国際総合スポーツ大会だ。

それなら e-スポーツをオリンピックでも見ることができだろうか。あるスポーツがオリンピック種目に認められるためには国際競技連盟総連合会 (GAISF) と国際オリンピック委員会 (IOC) の承認を経なければならない。まず e-スポーツも FIFA のように種目を総括する国際機関を作成すれば GAISF に加入するのは可能である。すでにチェスやカードゲーム「ブリッジ」などが、このような手順を終えた状態だ。

しかし、最終関門となる IOC の承認を受けるのは容易ではないようだ。トーマス・バッハ IOC 委員長 (67、ドイツ) が折に触れて「e-スポーツは暴力的なのでオリンピックの価値と合わない」と主張しているからである。これに対して、「1976 年のモントリオール五輪でフェンシング種目に出場したバッハ委員長が暴力性を理由に e-スポーツに反対するのは矛盾」という批判もあるが、バッハ委員長は意を曲げていない。

もちろん IOC の中でもバッハ委員長に反対の声を出す人もいる。オリンピックはますます若い世代に人気を失っている。これを挽回しようと 2020 東京オリンピックは 3 対 3 ストリートバスケットボール、スケートボード、自転車、障害物競走 (BMX) など、若い世代に人気のあるスポーツを正式種目に採択した。2024 パリ大会の時はブレイクダンスも正式種目になる。このような状況では若い世代に最も人気のある e-スポーツを IOC が目を背けてはならないということだ。

バッハ委員長はまた「e-スポーツは身体活動と関連がない」と主張する。しかし、オリンピック憲章のどこにも身体をどの程度、どのように動かしてこそスポーツだと規定する条項はない。身体活動が多くないチェスとブリッジを総括する国際チェス連盟 (FIDE) や世界ブリッジ連盟 (WBF) はすでに IOC 公認団体であるため e-スポーツだけが身体活動と関連がないとするのはダブルスタンダードだという批判も出ている。これに e-スポーツ業界の専門家たちの間では、最初から「e-スポーツオリンピック」を別々に開こうという声も出ている。グローバルコンサルティング会社 PWC から 400 人を超える専門家を調査した結果によると彼らの中で最も多くの 29% が「e スポーツはオリンピックと独立した形で発展すればいい」と答えた。国際パラリンピック委員会 (IPC) で IOC と連携して、オリンピックが終わった後、同じ場所でパラリンピック (パラリンピック) を開くように e スポーツも国際的に認められた団体を立てて別にオリンピックを行えば良いという主張だ。

*出典：<https://www.donga.com/news/Sports/article/all/20200613/101489645/1>

04 【スポーツ界あれこれ】

国民体育振興公団

国民体育振興公団（理事長趙ジェギ）が12日午後3時から3時間の公団公式YouTubeチャンネル（チャンネル名、国民体育振興公団）で、女性のスポーツリーダーアンタクトークコンサートを開催する。

朴炳鎬、梁義智など大物野球選手の契約を成功させた李イェラン、リコースポーツエージェンシー代表が「スポーツエージェンツ職業の理解」についての講演を、スポTVゲームズ通訳として活動しリーグ・オブ・レジェンド（LOL）ロールW杯、レジェンドオールスター戦通訳及びインタビューで活躍した朴チソン通訳士が「eスポーツ産業に見るスポーツの未来」についての発表を、Kリーグ初の女性実務リーダーであり、ドラマ「ストーブリグ」諮問委員としても活動した金ウンギョン、ソウルイーランドプロサッカーチーム事務局長は「女性スポーツリーダーの人生設計とキャリア開発」についての知識を交わす予定

大韓体育会

大韓体育会と延世スポーツ科学およびスポーツ医学センター（センター長李ヨンヒ）は5日、IOC研究センターを共同運営することで業務協約（MOA）を締結し、今後IOCリサーチセンター코리아（IOC Research Centre Korea・仮称）として新たに研究所を拡大することにする。国際スポーツの舞台でエリートと生活体育を合わせた世界レベルのスポーツ研究機関として作っていく計画。李ギフン体育会会長は「IOCリサーチセンター코리아発足とともに選手の負傷に関する共同研究等を実施することにより、安全なスポーツ環境を造成して、傷害予防策作りに肯定的な効果を得ることが期待される。コロナ19により1年延期された2020東京オリンピック大会を控えた国家代表選手たちの負傷や病気を予防し、競技力も向上させることができるだろう」と明らかに。

京畿道体育会

京畿道体育会が道民に安定的なスポーツ活動サービスを支援すべくグローバル危機管理研究所と業務協約を締結した。両機関は▲国内外の体育活動支援関連として事件・事故に対する危機管理諮問▲スポーツ関連の危機管理や防犯などの共同関心分野の教育と研究▲両機関のブランド価値向上のための協力事業など充実した運営と成長のための基盤作りの活動を一緒に行うことにする

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407号

체육시민연대 서울시 서초구 서초동 효령로 230 승정빌딩 407호

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net

ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com